

げられる最高の贈り物の一つではないでしょうか。そしてこれは学者になるような人ばかりでなく、どんな人にとっても言えると思います。

●細水先生の授業が人気なわけ

東北の大震災が起きた年に行った第六回目以降の創才セミナーは、細水保宏先生の授業を中心に行っています。細水先生は元筑波大学附属小学校の副校長で、現在は明星大学の客員教授をされています。

先生の授業は子どもからも大人からも大好評です。それは、正に先ほど中垣先生がおっしゃったような「とにかくそのことをやっておもしろい」と思えるような体験ができるからなんです。例えばこんな感想が寄せられています。

【小学六年生】「私はもともと算数が好きではなかったのですが、去年の授業を受けて算数が大好きになり、今では一番の得意科目になりました。」

【保護者】「気が付けば、娘の付き添い感覚でいた自分もいつの間にか生徒状態となり、娘より楽しんでしまった気がする。」

【イカール星人で有名な阪口あき子さん】「細水先生は子どもたちを上手に惹きつけてくださり、「どうして？ふしぎ！」と感嘆し、「わかんない」が「…あ！わかった！」に変わる感動を味わい、あっという間の一時間でした。」

セミナーを運営している会員は、私も含めて皆他に仕事や活動をしていて忙しいのですが、それでも

頑張れるのは、参加者がとても楽しんで、こういう感想を寄せてくれるので、私たちも「とにかくやってよかった」と思えるお陰なのです。

●北緯42°の地方の街の可能性

創才セミナーは大沼で開催していて、広中先生が「湧源大学」を造ることを最初に構想したのも大沼の地でした。その理由は、大沼が北緯42°に位置するためです。地球儀を北緯42°に沿って回してみると、ボストンやローマ、中国の瀋陽などの都市があります。そうした古来優れた頭脳の人物を輩出している街と同じ緯度に位置して、しかも気候や風土に恵まれているので、国内最高の学問研究の地となる可能性を秘めていると評価されたからです。

広中先生が「湧源郷構想」を発表された時代は、日本経済が最高潮を迎えていました。日本が豊かな富を蓄えることに成功し、更に成熟して「名医三代にして成る」という格言を実現するか、それとも「長者三代続かず」に当てはまってしまうか、その重要な分かれ目にある、と広中先生は考えていらっしやいました。また、社会の情報化が進む中で、情報の集まる巨大都市はますます巨大化する一方、地方はますます過疎化が進んでしまうことに危機感を持っていらっしやいました。

それから三十年以上の歳月が過ぎて、日本の状況は大きく変化しました。今では広中先生の湧源郷構想を活かせる道はないのか、と言うと、決してそうではないと思います。

先生は一九八八年に出版された『湧源国家論』の

中で、「競争には「集中競争」と「多様競争」の二種類がある」と書いています。

「集中競争」というのは、全体が同じ目標に向かって、共通の価値観をもって競争することで、これをすると改良の速度は速くなる。しかし、新しいものの創造には向きません。

それに対し、多様競争は、目標とか価値観が違う集団と集団、あるいは人間と人間の間で行われるもので、これが行われると、創造性が高まる。



平成22(2010)年 第五回創才セミナー中「数学の道」除幕式にて
(左から 故中島会長、広中先生、中宮七飯町長)

学問の世界でも、違った専門の人間が寄り集まって競争心を燃やす時に、発見や発明が生まれやすい。数学でも、新分野の発想は地方で生まれ、それが大きく発展するのは中央であることが多い。古代ギリシャのように、中央集権ではなく、適正規模の自治体が集まった寄合所帯になった時、文化が大きく発展する可能性がある」と書いています。

ここに地方に生きる私たちが活路を見出すための一つのヒントがあると思います。未来大学は広中先生の構想を活かして「オープンスペース、オープンマインド」というモットーの基に、教員同士の交流が他の大学にないくらい非常に活発だそうで、それが未来大の評価が年々高まるゆえんとなっています。

この本にはこの他にも、時代を超えて活かせる知恵がたくさん含まれていると思います。

最後に、当会の活動は、会員の皆様が支払ってくださる会費が主な財源となっています。活動を続けるには、地域の皆様のご支援が欠かせません。この機会に皆様にぜひご入会あるいは活動をお手伝いいただき、この素晴らしい活動を支えていただければ、と思います。

★会員あるいは活動の仲間になるには、当会ホームページ カテゴリー「北海道創才教育推進会とは？」(URL) <http://sousaikyouiku.cocolog-nifty.com/blog/2011/06/post-da80.html> をご覧いただくか、一ページ目の事務局までご連絡・お問合せください。

北海道創才教育推進会 役員

名誉顧問 広中平祐

(数学者 (財)数理科学振興会理事長)

会長 山崎文雄 (北海道国際交流センター(エフエフ)代表理事)

会長 石井満 (函館の歴史的風土を守る会 副会長)

事務局長 杉原友子 (株)リード不動産 会長)

事務局次長 船矢直子 (「いぶきの部屋」カウンセラー)

好 (函館豆記者交歓会 顧問)

松川典子 (ヨガ・セッションルーム アヌヘア)

監事 原川一彰 (数学塾 塾長)

島本肇 (株)島本印刷 社長)

会員一覧

菅野剛造	島本肇	齊藤裕	今藤和均	後藤典子	兒玉立助	國地喜久夫	菊嶋喜一	川嶋穂一	鹿嶋浩一	金田栄子	恩村恭子	小野沢猛史	尾崎千恵子	石崎岩雄	石崎満	芦井良橋	青野基
菅野寿恵	菅野太	菅野直	菅野平	菅野昭	菅野不動	菅野好産	菅野雪	菅野孝	菅野真	菅野恒	菅野子	菅野多	菅野明	菅野武	菅野直	菅野四	菅野郎
菅野太	菅野直	菅野平	菅野昭	菅野不動	菅野好産	菅野雪	菅野孝	菅野真	菅野恒	菅野子	菅野多	菅野明	菅野武	菅野直	菅野四	菅野郎	
菅野太	菅野直	菅野平	菅野昭	菅野不動	菅野好産	菅野雪	菅野孝	菅野真	菅野恒	菅野子	菅野多	菅野明	菅野武	菅野直	菅野四	菅野郎	
菅野太	菅野直	菅野平	菅野昭	菅野不動	菅野好産	菅野雪	菅野孝	菅野真	菅野恒	菅野子	菅野多	菅野明	菅野武	菅野直	菅野四	菅野郎	
菅野太	菅野直	菅野平	菅野昭	菅野不動	菅野好産	菅野雪	菅野孝	菅野真	菅野恒	菅野子	菅野多	菅野明	菅野武	菅野直	菅野四	菅野郎	
菅野太	菅野直	菅野平	菅野昭	菅野不動	菅野好産	菅野雪	菅野孝	菅野真	菅野恒	菅野子	菅野多	菅野明	菅野武	菅野直	菅野四	菅野郎	
菅野太	菅野直	菅野平	菅野昭	菅野不動	菅野好産	菅野雪	菅野孝	菅野真	菅野恒	菅野子	菅野多	菅野明	菅野武	菅野直	菅野四	菅野郎	
菅野太	菅野直	菅野平	菅野昭	菅野不動	菅野好産	菅野雪	菅野孝	菅野真	菅野恒	菅野子	菅野多	菅野明	菅野武	菅野直	菅野四	菅野郎	
菅野太	菅野直	菅野平	菅野昭	菅野不動	菅野好産	菅野雪	菅野孝	菅野真	菅野恒	菅野子	菅野多	菅野明	菅野武	菅野直	菅野四	菅野郎	
菅野太	菅野直	菅野平	菅野昭	菅野不動	菅野好産	菅野雪	菅野孝	菅野真	菅野恒	菅野子	菅野多	菅野明	菅野武	菅野直	菅野四	菅野郎	

北海道創才教育推進会 ホームページ <http://sousaikyouiku.cocolog-nifty.com/blog/>

創才教育推進会についての説明

広中先生の教育哲学の説明

過去の活動の紹介、感想文、写真

教育に関する座談会などの記事があります。

◆平成23年(2011)の創才セミナーの一部をYouTubeでご紹介しています。

「算数・数学を楽しもう！」

2011年8月27日創才セミナー」

(URL) <http://youtu.be/4iuxL49OyUk>